

石岡市のお財布は



市の財政は、金額も大きく、専門用語が多いため、分かりにくいものです。

そこで、平成25年度の石岡市一般会計決算の1億円を家計簿の1万円に置き換え、市の財布をイメージしてみました。

また、市の財政はどのように変わったのか、10年前（平成15年度決算）の状況と比較してみました。

■問い合わせ

財政課

☎23・1111

(内線234)

収入



給料（市税）	98万円 (+4)
パート収入 (使用料・負担金など)	16万円 (Δ3)
親からの仕送り (地方交付税・消費税交付金など)	74万円 (Δ7)
親からの援助 (国庫支出金・県支出金)	57万円 (+25)
ローン借り入れ（市債）	39万円 (+11)
貯金の取り崩し (基金繰入金)	2万円 (±0)
前年度からの繰越（繰越金）	14万円 (+3)
合計	300万円 (+33)

支出



食費（人件費）	53万円 (Δ6)
生活費（物件費）	33万円 (Δ4)
医療費・養育費（扶助費）	57万円 (+30)
家の補修代（維持補修費）	3万円 (+1)
ローンの返済（公債費）	29万円 (±0)
自治会費など（補助費など）	26万円 (Δ5)
家の増改築・家電の購入 (普通建設事業費など)	37万円 (+4)
貯金（積立金・貸付金など）	11万円 (+6)
子どもへの仕送り (国保・介護・下水道などへの繰出金)	37万円 (+8)
合計	286万円 (+34)

貯金とローン残高

貯金残高（基金残高）	100万円 (+44)
ローン残高（市債残高）	292万円 (+1)

※（ ）内は平成15年度との比較です。Δはマイナスを表します。平成15年度の額は、旧石岡市と旧八郷町それぞれの決算額の合計です。
※ 基金・市債とも、一般会計に係る分の残高です。また、基金からは、定額運用基金を除いています。

貯金を増やしなから、ローンを減らしていますが、引き続き、ローン残高の管理が必要

貯金とローンの残高

10年前と比べて、医療費や子どもへの仕送りが増えています。そのため、家の増改築・家電の購入を控えたり、食費や生活費を抑えて赤字にならないようにしています。

支出

10年前と比べて給料は少し増えましたが、依然として親からの援助や仕送りに頼っている状態です。自分で確保できる収入は、給料とパート収入を合わせても、4割程度です。

収入



10年前の
平成15年と
比べると